

第6期古賀市介護保険運営協議会（平成27年度第3回）会議録

標題の件について、下記のとおり実施したので、古賀市介護保険運営協議会規則第6条に基づき会議録を作成する。

1. 日時 平成27年11月27日（金）19時00分から20時20分まで
2. 場所 サンコスモ古賀 201・202研修室
3. 出席委員 甲斐信博 会長、福岡綱二郎 副会長
大久保康裕 委員、神徳美奈子 委員、檜山信夫 委員
京谷千恵子 委員、渡部典子 委員、内田理加子 委員
古川真澄 委員、酒井康江 委員
4. 議題
(1) 古賀市介護予防支援業務委託事業所について
5. 報告
(1) 平成27年度古賀市介護予防支援業務委託事業所について
(2) 平成27年度外出促進事業について
(3) 平成27年度認知症サポーター養成事業について
(4) 平成27年度定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所開設の進捗状況について
6. 資料
【資料1】古賀市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成24～26年度）の実施状況（概要）
【資料2-1】古賀市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成24～26年度）の進捗状況【各事業の実施概要】
【資料2-2】第4章「高齢者福祉施策の推進」
第5章「介護保険事業に係るサービス量と費用の見込み」
【資料3】古賀市介護保険事業計画（平成24～26年度）の計画値と実績値の比較（主要7指標）
【資料4】平成27年度古賀市介護予防支援業務委託事業所一覧
【資料5】平成27年度高齢者外出促進事業
【資料6】平成27年度認知症サポーター養成事業

7. 署名（規則第6条第2項）

会長	印
会長の指名する出席委員	印

8. 議事の概要

(1) 「第5期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の進捗状況（平成26年度）」について

介護支援課より、古賀市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成24～26年度）の実施状況について、高齢者福祉施策の特色、介護保険事業の特色及び今後の取り組みの重点を説明。

【質疑】

○二次予防の基本チェックリストの回収率はどれくらいか？

⇒平成26年度は76%、平成24、25年度は64%。平成26年度は、計画策定のアンケートに同封したため、回収率が高くなった。

○年度ごとにチェックリスト対象者の対象年齢が違うのは、どういった意図があるか？

⇒チェックリストの郵送での実施は、平成22年度から開始した。それ以前は、健診時に受診者に対し行い、平成22年度からは75歳以上の方を対象とした。翌年は、70～74歳に対し実施。まだ元気な方が多かったため、次年度は、80歳以上とした。平成26年度以降は、計画の対象者である65歳以上を対象とし、誕生日を区切って行った。

○チェックリスト対象者の抽出年齢に統一性がない。長期的な計画を立てて、アンケートを実施すべき。

⇒できるだけリスクが高い方を抽出したいという思いもあって、年齢が高い方を選択した。来年度は、計画策定の為の実態調査と合わせて行う予定。

○以前、古賀市民で糖尿病の保健指導を受けた方がおられ、ブドウ糖の飲用指導だけを受けた。実際は、大腸がんが進行していた。その方の全体像や背景等を知って、対応すべきだと思う。数値などの実施結果だけの提示だけではなく、利用した方の反応を見たい。

⇒訪問時に利用者のお声も聞いているので、集約できればと思う。データだけではなく、いろんな角度から生活指導を行っていききたい。

○事務局から見た課題として、今後取り組んでいかなければならないところ、課題として残っている事を教えて欲しい。

また、二次予防対象者把握事業は今年度で終了とあるが、対象者が3割もおられ、効果が上がっていると思う。チェックリストを実施してわかる方がこんなにいるのに、やめてしまうのは、問題があるのではないか。今後介護予防・日常生活支援総合事業に移行する予定とあるが、内容を教えて欲しい。

⇒地域の取り組みとして、運動に取り組んでいる行政区が、46行政区中24行政区。月4～5回運動を実施している行政区が7行政区、全く取り組んでいない行政区が半分ある。

地域差があるため、全行政区が運動に取り組み、維持できる様にしたい。

今年度二次予防のアンケートを実施してはいないが、民生委員等からの情報により地域に出向き、情報を得て、教室につなげている。

○総合事業において、地域での介護予防の取り組みや地域での支え合いがまさに大切だと思う。そのために、活動しやすい環境の整備が重要と思うが、公民館の整備面のハードの部分で、補助など活用できるか？

⇒平成18年から基金を使って、行政区の大半で公民館の改修を行い、バリアフリーになっている。なっていない区については、公民館は区の持ち物であり、公民館係が所管しているので、連携をしていきたい。

○地域での支え合いには、高齢者の能力の活用、シルバー人材センター、老人クラブの活用が重要と考えるが、シルバー人材センターの登録者が減っている要因は？

また、シルバー人材センターの実績の約3,100件の中に、ワンコインサービスは含まれているか？

⇒シルバー人材センター登録が330名程減少しているが、主な要因は、2つあると考えられている。1つ目は、定年年齢の上昇、2つ目は年金が上がらないことによる。フルタイムで働き、もっと収入を得たい方が増えたことによるものである。

また、シルバー人材センターの実績には、ワンコインサービスは含まれていない。

今後、シルバー人材センターのワンコインサービス等の生活支援サービスの充実を図るため、広報や啓発を行っていきたい。

○総合事業の介護支援ボランティアの活動範囲は？現在は、施設中心と聞いているが、今後はどうなるのか？

⇒現在は施設中心にポイントを付与しているが、来年度は、地域へもポイントを付与したい。

○認知症サポーターキャラバンは、古賀市は他市に比べて多いと思うが、小学生を対象にオレンジ教室を行っているからか？企業へ取り組みは？

⇒イオン、セブンイレブン、消防署等の企業へ取り組みを行ったが、まだ地域より実績が少ない。今後、企業にも進めて行きたい。

○成年後見人の申立が1件と、他市町に比べて少ない。古賀市では、本人申立が多いということか？

⇒本人申立数の把握はしていないが、事前の相談には応じている。

○虐待の対応は、どの部署で行っているか？

⇒高齢者については、地域包括支援センターで行っている。

○地域の認知症の方の写真を持って、探し回った経験がある。企業やコンビニ、駅などの公共の場で働く方に対して、サポーター養成講座を行ってほしい。様子のおかしい人を発見するのも早いのではないか？

⇒啓発に努めたい。

○オレンジ教室は、小野小学校だけなぜ6年生で実施なのか？

⇒小野小学校の5年生は、みどり苑との交流があり、学校の要望で、6年生に実施している。

○外出促進事業のポイント付与に対して、積極的な所と消極的な所がある。

また、昨年は、頑張れば必ず景品がもらえ、好評であったが、今年は抽選になり、不評である。意欲がなくなった方もおり、楽しみが増える工夫をお願いしたい。

⇒利用者がかなり増え、予算の関係で、今年度は事業内容の見直しをさせていただいた。

次年度は、市民の意見をお聞きし、民間の能力を取り入れながら、事業内容の見直しをさせていただきたい。

○たいそうな商品でなくていい。あれば便利だけど、お金までは出さないかなという様な商品をお願いしたい。

○認知症徘徊メール（SOSネットワーク）が立ち上がって、登録状況はどうか？

徘徊でお困りの方に勧めても、なかなか利用に至っていないが。

⇒登録者は、11名。今月も1名のメール配信をした。

○安心生活サポート事業の利用が年々増加しており、一方で成年後見人制度の利用者が少ないが、この二つの事業の使い分けをどのようにしているのか？

⇒安心生活サポートは利用者との契約によって成り立つものであり、成年後見人制度は、裁判所へ後見の申立が必要なものである。後者は、選任に時間もお金も必要であることから、安心生活サポート事業で対応可能な方については、そちらを勧めている。また、裁判の決定が下りるまでの間のみ利用の場合もある。

○平成26年度に地域包括支援センターで、電話や窓口で対応した相談件数や内容を教えて欲しい。

⇒総合相談は、大きく区分けをし、数字をとって統計がとれる様になっている。1ヶ月に70～80件程度であり、内容は、介護認定の必要があるかどうかについてや遠方のご家族からの心配事、1人暮らしの心配事について等である。急を要する場合には、即訪問も行い、関係機関等へ繋いだりもしている。

○安心生活サポート事業と成年後見人制度事業に料金の差があるか？

⇒安心サポートは、1回の支援で500円。後見人申立は、初期費用の上、月々何万円かかる場合もある。後見人が家族の場合は、安価であるが、専門職となると高くなる。

○介護の苦しみを持つ家族の深刻な悩みを真摯に聞いてくれる所は、どこなのか？窓口は、行政にあるのか？

⇒地域包括支援センターで様々な高齢者の相談を受けている。また、身近なところでは、区

長、民生委員が対応して下さっている。

○もう少し気軽に相談しやすい体制をお願いしたい。ボランティア菜の花の会は、行政に言えない事でもお茶を飲みながら言える。ご家族にも菜の花の会について紹介してほしい。また、団体に対して、以前は活動助成金があったそうだが、今はなくなってしまった。インフォーマルな部分にも光をあたる様にしてほしい。宗像市では、行政の助成を受け、介護家族の相談にのっている団体（ひまわり）がある。

⇒社会福祉協議会と話し合い、進めていきたい。

9. その他

- ・議事録について

署名については甲斐会長と内田委員にお願いする。

- ・次回開催日程について

平成28年1月22日（金）19時からの予定

以上